

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス鹿児島教室		
○保護者評価実施期間	R8年1月13日		～ R8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小さな成功体験を大切に、遊びながら運動ができる柳沢運動プログラムを特徴としている。	・それぞれの運動プログラムの内容を目的を持って考え、基礎となる運動を遊びながら、段階付けをして取り組んでいる。	・各々の能力に合わせて、1つ1つ、何かしら成功体験となるよう実施に挑んでもらっている。
2	・SSTや読み聞かせ、認知機能トレーニングや音楽療法なども取り入れて、協調性や社会性、情緒面への働きかけもしている。	・異年齢での関わりがある為、内容によっては同じ学年同士にしたり、異学年ごとで分けて刺激や助け合いを設けるなど工夫している。	・児童に伝わりやすいよう、また分かりやすいように進行する為には、と必ず朝のミーティングにて内容のすり合わせをし、どの場面のどの部分を評価するのか、確認をしている。
3	・あらゆる活動(公共施設、調理、工作、外遊びなど)を体験、経験しながら社会性、協調性を養い、集団での他者との関わり、人間関係構築などを学べる。	・人との関わりの中で、トラブルが起きない様にするだけでなく、起きた時にどう対処、対応するのかを必ず、職員が間に入り、双方の気持ちを聞き、お互いの気持ちの折り合いをつけるよう工夫、配慮している。	・行ったところのない場所への経験を職員も一緒に学び、経験値を増やしていきながら、スキルアップをしていきたい、と考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族間の交流の場を設けていない。	・家族が来られて児童を見るや一緒に参加するなどの活動内容を立案していない。	・今後、児童を見る機会(発表など)と一緒に参加して楽しむなどの活動内容を話し合って立案したいと考える。
2	・家族への研修指導など行う事が少ない。	・研修提供や資料配布などは、行っていない。	・児童に関する出来事等に合わせて親御さんへの働きかけをタイムリーに行っていきたい。
3			